

「言葉」の世界を豊かに！

先日まで半袖でも暑い日があったのにもかかわらず、ここ数日は、朝晩寒いと思う日が多くなりました。秋も深まり、祖父母参観日にもお願いをしたところですが、長い夜にご家庭で様々な話をされる時間も多くなってきているのではないのでしょうか。

さて、本校は、広島県の小学校を代表して、十一月一日（金）に行われる「広島県国語教育研究大会」で、全学年・全学級の授業を県内の教育関係者に公開します。特に、本校では、今年度、文学的な文章を読むことを中心に研究を進めているところです。国語科の学習は、学習指導要領の目標にも、『言葉』による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を…（中略）…育成することを目指す。」とあります。国語科の学習は、すべての教科・領域の学びや生涯にわたる学びの根幹をなすものです。私たちがものごと（の意味）を理解する多くの場合に、「言葉」を介します。ですから、国語科の授業でも、「教科書に……と書いてあるので、登場人物は、……だと思えます。」などと、教科書の「言葉」にこだわり、登場人物の行動や気持ちの変化等を想像しているところです。

ほかに、「言葉」を豊かにするために取り組んでいることがあります。一つは「暗唱」です。月に一つずつ詩や名文を暗唱することに挑戦しています。詩や名文に触れることを通して、「言葉」のすべての意味までは分からないまでも、その「言葉」について想像を膨らませたり、文のリズムのよさを感じとったりしています。二つ目は、一つのお題から多くの言葉を見つける「古今東西ゲーム」です。九月には「虫」、十月には「秋を感じる言葉」というお題で、一人一人がお題に沿った「言葉」を考え、付箋に書いて職員室前に貼っていつています。子ども達の「言葉」の世界は意外と広く、捨てたものではないなと感じています。

「学習発表会」では、「言葉」だけでなく、動作もつけた表現で、各学年が発表をします。（このたよりが届くころには、「発表しました」かもしれません。）

子ども達のがんばりへの保護者・ご家庭・地域の皆様の、お褒めの「言葉」も子ども達の次への力となります。ぜひ、ふだん子どもの姿も見ていただき、しっかりと褒めの「言葉」をお願いいたします。

学校長

田丸 栄